

## 業務処理要領（案）

北海道庁本庁舎等産業廃棄物処理業務の処理については、契約書の定めによるほか、この業務処理要領の定めによる。

## 1 業務対象品目（廃棄物の種類）

- (1) 廃プラスチック類
- (2) 金属くず
- (3) ガラス陶磁器くず
- (4) 廃ＯＡ機器（パソコン・プリンター等）
- (5) 発泡系廃プラスチック類（ＰＳ・ＰＰ・スタイロホーム・ウレタン）

## 2 収集場所

- (1) 札幌市中央区北３条西６丁目 北海道庁本庁舎
- (2) 札幌市中央区北３条西７丁目 北海道庁別館庁舎
- (3) 札幌市中央区北３条西７丁目 北海道庁別館西棟庁舎

## 3 収集運搬方法

- (1) 甲は庁内で発生した１の廃棄物の処理を要する場合、口頭等により乙へ業務依頼を行う。
- (2) 乙は前項の依頼を受け、対応が可能である場合これを承諾し、車高２．１５ｍ以下の車両を使用して甲が指定する２の敷地内から廃棄物を収集する。このとき積替は認めない。

ただし、収集物の形状、性質及び数量等の都合上、当該仕様とは異なる車両による収集が望ましいと甲が認めた又は指示した場合はこの限りではない。

## 4 計量及び精算方法

- (1) １の(1)から(4)までの廃棄物

乙は収集の都度、種類毎にｋｇ単位で計量するとともに、マニフェストはｍ³単位で作成し、精算はｋｇ単位で確定する。

ただし、その場で計量可能な場合は、マニフェストもｋｇ単位で作成し、その数量で確定する。

- (2) １の(5)の廃棄物

計量、マニフェストの作成及び精算において全てｍ³単位とする。

ただし、甲は当該廃棄物を９０ℓポリ袋に梱包して排出するとともに、その計量等にあつては、「９０ℓポリ袋１袋あたり０．１ｍ³」として扱う。

## 5 マニフェストの費用負担

業務の処理に要するマニフェストの費用は乙の負担とする。